



東町の人

民族音楽に魅せられて

トウバ音楽演奏家 喉歌歌手

寺田 亮平さん

九浦の家だより

吉祥寺東コミュニティ通信

●NO. 118 2018 01 10

吉祥寺東コミュニティ協議会

● 武蔵野市吉祥寺東町 1-12-6

吉祥寺東コミュニティセンター(九浦の家)

●電話0422-21-4141
HP kihigashi.sakura.ne.jp

「トウバ共和国」は、ロシア連邦に属する人口30万人、面積は北海道2つ分ほどの、シベリア南部のモンゴルに隣接する遊牧騎馬民族の共和国です。ロシアの右半分はアジアでも先住民が多く、シベリアは開拓地で世界最大の多民族国家であることを、私たちの何割が知っているでしょうか。アメリカ、ヨーロッパより近い中央アジアの国々の文化や言語は、日本ではほとんど知られていません。そのトウバ音楽に出会い、その世界を日本人に知ってもらいたいと、演奏活動をしている人がいました。

九浦の部屋が予約なしの夜、当日利用で楽器を練習する常連さんがいます。楽器の音のほか、不思議な音：実は声なのですが響いてきます。これが寺田さんでした。

「長崎で生まれ育ち、大学進学で東京にきました。子どもの頃から音楽が好きで、中学・高校とバンドを組んで、ギターやボーカルの。当時はポップスやロックでしたが、十代の終わりから民族音楽に惹かれ、夏休みを利用して沖縄に二月程滞在して三線(さんしん)を習ったりしましたが、CDでトウバの曲に出会って「これは何だ!」

「トウバの演奏家が来日すると聴きにいたり、ずっとトウバ音楽のファンでしたし練習もしてましたが、日本には楽器も少なく、まして喉歌の発声方法も分からない」「広告、印刷関係の会社に勤めながら音楽

楽器はドシブル

活動も続けているうちに、日本人の研究者と知り合えて情報を得られ、来日した演奏者からは楽器を譲ってもらったり、嬉しかったです」

寺田さんは30歳になった頃会社を辞め、トウバに行きますが、当時トウバ語の教材は日本には少なく、アメリカから文法書を仕入れ、行く前にまず言葉の勉強を1年。その時のノートが10冊以上。それ以後毎年夏の三ヶ月はトウバ(首都クズル)、残り日は日本という生活。始めの3年間は語学学習に専念、3〜4年経ってやっと日常会話はOKになったものの、公用語はロシア語のため、ロシア語も平行して勉強。トウバ音楽は歌詞が大事なので、古語も含め言葉についてはまだ苦労が続いているそうです。

「六、七、八月はトウバでプロに師事して演奏と語学を修業し、日本では演奏活動とシベリアの少数民族、遊牧民の音楽を少しでも皆さんに知ってもらいたいので、中央アジアの演奏家とのセッションを企画運営し、月二、三回の演奏会を行っています」

「30歳を過ぎてから、より人生が楽しくなりました。勉強すればする程、どんどん面白くなった。トウバなんて日本では接する機会が少ないうちに、出会えたことが不思議ですね」「東町に住んで15〜16年になります。もともとライブ会場やレコード屋さんが多く、度々来ていた。交通の便も良く、ほとんどの物はそろっていて賑やかなのに、都心程ストレスは感じないし、善福寺公園はほっとできる場所だし、九浦の家もよく利用させてもらい助かっています」

人生が楽しくなるなんて、もっとお聞きしたいですね。

楽器演奏と喉歌を聴かせてもらいました。喉歌は少数民族の、古くから口承として伝

予告

◆新春餅つき大会と大型百人一首
一月21日(日) 11〜13時

◆コミセン親子ひろば 一月12日10時〜
吉祥寺東落語会 一月23日(火)14時〜
春風亭三朝 要申込 木戸銭500円

◆一月つどい 28日(日)10時〜
小・中一貫教育検討委員会 検討状況に関する意見交換会 教育委員会

◆一月28日(日)14時〜本宿コミセン
「地域防災フォーラム」
東部防災会・本宿コミセン共催

◆フレイル(高齢化による虚弱)予防
お話と実技 山形哲行理学療法士
一月21日(日)14〜16時 本宿コミセン
東部福祉の会・ゆとりえ共催

◆二月3日(土)14時〜アジアを知らうタイ3
「もっと聞きたいタイの話」
お話 旅行作家下川裕治さん

◆滋賀県を知らう 二月4日(日)13時〜
九浦の家 東部福祉の会主催

◆二月つどい 22日(木)19時〜
「外環問題の今。本線・地上部街路」

◆三月つどい 22日(木)19時〜
「平井医院跡地はどうなるか」

三月3〜11日館内改修のため休館です

わるもの。風の音や自然が感じられる懐かしい様な不思議な音色でした。(駒井)
喉歌(ホーミー、ホーメイ)は唄う時同時に二つの音を出す発声法。擦弦楽器の「イギル」と撥弦楽器「ドシブル」(写真がよく使われる。

お詫びと訂正 ニッ号島野さんの記事、一段目6行の二年は、三年からでした。また、収容所は独立した島だったそうです。

あけましておめでとうございます。
今年も九浦の家をご活用ください。引き続き地域課題にも取り組みます。

代表 青木一郎

街づくりができるのは、

積み上がる三中生の体験

十二月16日(土)、三中生が今年も防災

訓練。市の初動要員ほか、防災推進員、本署の消防車と第2分団の消防車も待機。防災会、分団員、防災推進員が指導にあたり、校庭で、全員軍手をもらって、炊き出し、非常用トイレ組立て、ロープワーク、消火訓練を体験。α米ができるまでの待ち時間にロープワーク(もやい結び・巻き結び・本結び)と消火訓練を体験。

トイレの組立ては、誰も「取り説」は手にせず、それでも見本があれば組み立ててしまう、まずやってみる世代ですね。ガスは外で点火してからコンロに押し込むなど、やってみてなるほどという事がいっぱいあります。消火器は、実際のガスの炎を消すため効果が実感できた様子でした。この中学生の防災訓練体験は今年で三年目になります。一年生が加わることで体験者が確実に毎年増え、また重ねて体験する生徒がいて、積み上げ効果は計り知れません。河合校長はじめ先生方も多数参加されました。ユニホーム姿の

左端の写真は、地下2階体育館南の倉庫から、組み立てるトイレの箱を運び上げる。これが何より大変。

女子野球部員がいるのも、そういう時代になったと新鮮でした。

下水本管延命工事 3月20まで 武蔵野市下水道長寿命化計画



月～金の18時まで片道交通で工事

武蔵野市の下水道は昭和27年着手、40年代に集中的に整備されたので、多くが50年耐用年数を超えています。そこで、延命計画が平成24年度に策定されました。下水道長寿命化計画です。市内の70%の下水を引き受け、落合水再生センターに送る「女子大幹線」は、338超の大口ボックスカルバート。調査の結果、改築必要度が重度だったので、25年度から延命工事にかかり、善福寺川までの杉並区の部分には28年度までに終了、今、女子大通りの三江北辺りを工事しています。

美大通りの保育園

自走製管機を管路内に設置し、地上のドラムから連続的に硬質塩化ビニル製の帯状材料を製管機に送り込み、管壁に添い螺旋状に巻き付け接合していくSPR工法です。下水は流したまま工事でき、数十年延命できるそうです。(左写真と上の図)

三丁目美大通りにマミー保育園建設中。夕方の交通量は凄いが、ガードレールはあります。近隣との話し合いを重ね、玄関(登園や自転車降りる場所)を、東から北に変更。園庭があまり取れないため、外遊びは本田北公園と宮本小路公園を使うそうですが、公園までの経路など、市はもと丁寧な情報提供すべきです。

七月24日本町コミセンでの説明会以降も、近隣との設計をめぐる交渉はあったようですが、聞く機会がなかったコミニティ協議会としても関心事の運営方針、事業計画、プログラムにつき、一月13日、運営計画説明会(本宿コミ)が予定されました。

◎外環地上部街路話し合いの会中間まとめ作業部会は、年度末まで追込み作業中です。

東町事故・事件 十月以降

▼十月20日14時ごろ吉祥寺通り東急前で8名怪我の事故

▼十月初め三中生通りで自転車の痴漢。

▼十一月下旬警察を騙る男にキヤッシュカード3枚渡してしまった。店舗のカード関係の被害増えている。

▼公園で自転車のサドルが、街中では家の前の植木鉢が盗まれる。

▼東町で火事はありませんでした。

↑幅は意外に狭く12cm程のベルト



◎十二月1日アルテでの市の小学校連合音楽会で、四小は五年生が迫力の和太鼓演奏を披露。
◎宮本小路公園東の道に、パン屋「リールオパン」十二月開店。可愛いお店です。

◎17日ポランティアが宮本小路公園の花植え。水仙も咲きました。

◎建築中の吉祥寺通り神谷医院跡地ビル、一月末セブンイレブンが来るそうです。

◎吉祥寺プラザ奥の中島医院、一月に本町二丁目西三条通り「コビル」向かいに移転。

◎十二月第2週、東町二丁目変電所北の三教弓道場の建て屋が撤去される。

◎九月末開店のラウンドワン。人の流れが五日市街道までのびる。

◎末日聖徒基督教会前の美容院「パピポポ」十月末閉店。

◎「旅人食堂」十二月30日閉店。

◎二丁目十一小路の下水本管工事と舗装十二月末でやっと完了しました。

◎大晦日深夜雪舞う。

計報

九浦の家誕生前から、故和真人氏とともに、組織化から館の設計まで担われ、代表も務められた山口智章さんが、十一月初め亡くなりました。運営に携わって40年、何時も穏やかな常識人で、貴重なまとめ役でした。40周年記念日を前に残念です。

合掌



宮本小路のOさん宅を訪ねる4地区の子どもたち。



防災意識の変化と多様性

東部防災会会長 川島 好勝

東部防災会は、平成24年に発足してから早や5年が過ぎました。当初の目的は、市内小中学校に避難所を開設する事でしたが、訓練を重ね、防災知識を習得すればする程、単体で運営することは不可能であることを認識させられます。

そこで、防災会では年々様々な取り組みを行なってきました。例えば、一昨年度より地域の住民と一緒に町歩き、危険な箇所や非常時に役立つ物が何処にあるのか等を試行錯誤しながら防災マップ作りをしています。(本年度も進行中)二月24日は東町三丁目の南側

又、第三中学校の生徒さんの自主的な防災訓練には積極的に応援しており、子どもたちに防災ノウハウを経験して貰うことが、いざという時に本領発揮につながると期待するところです。

十二月の三中生防災訓練(左頁参照)は今年で3回目となり、参加生徒数76名、関係者を含めると110名の体験訓練で、消防署指導による模擬火災の消火訓練、消防団指導のロープワーク、初動要員指導によるトイレの組立、防災会指導の炊き出し訓練など全員が時間を持て余す暇もない有意義な内容でした。

地域住民と同じ方向を視野に入れて事業を興す。その上で提案させていただいたのが、武蔵野市主催の総合防災訓練と青少協本宿地区・本宿PTA共催のフレンドパークです。

本年度本宿小を会場とした総合防災訓練では、避難所開設にあたっての様々な対応をいかに適切に指示が出せるか、ということとをリアルに体験したかったの



安否確認の旗は門柱に縛り、雨中で確認票を受け取る。右は建物安全確認後開設の避難所受付なので屋根の下。

ですが、生憎の天候で体育館内と校舎内の一部を利用し、受付訓練のみ雨中で行いました。それはそれで検討課題も見つかりました。

フレンドパークに協力団体として参加できたこと、関係団体の皆様には感謝申し上げます。防災意識の自覚が薄れる中、常日頃から目を通さないとイベントの時に「楽しみながら」ができないよと、「東京防災」ガイドブックの存在を意識付け、競技化して防災の啓蒙活動を行いました。4百余名の参加者があり、内容に関しては今後の課題もありますが、有意義にできたのではと評価されています。今後も継続して防災運動会のような形が出来ればと思っています。

組織としてマンパワーが足りない等とも言われますが、防災会の考え方は、防災知識を向上させ、誰もが適切な指示を出せる人になる「一人作り」です。かつ、目の前にはその手助けをしてくださる方が数十人や数百人もいます。組織は地域でリーダーシップを発揮することだと思っています。

↓大まかくで作るものが決まる。
↓新聞紙とポリ袋で作った食器をヘルメットにし、トイレを組み立てる少年



体験してわかった雨中の連絡票受取りの困難

十月29日9時防災の想定の本宿小学校総合防災訓練に、東部福祉の会も要援護者対策事業(安否確認)に参加。ひどい雨のため、防災訓練は体育館に集約しましたが、東部福祉の会は、要援護者の安否確認の幟を出し、安否確認票受取りのテストを行いました。この日程度の雨でも、筆記用ボードも報告用紙も濡れて貼り付き、屋根なし机なしの場での受付、分類作業は至難の業。避難所が未開設の発災後早い時間に報告を待ち受けるため、雨雪にぬれずに書類をやり取りし、受け取った報告を整理し、安否確認済みと未確認分を分け、市への報告を可能にするには、せめて二人は濡れないですむ工夫が必要です。雨中の総合訓練には視力障害の方も来いましたが、こちらも今後の検討課題です。

体験の積み重ねがいつか役に立つ

今年の十一月26日の青少協本宿地区・PTA共催「本宿地区フレンドパーク」は、上の記事のように、東部防災会とコラボして「東京防災すごろく」を体育館で展開。新聞紙、段ボール、牛乳パック、ラップなど身近な材料を使って、骨折応急手当、足保護用履物、避難所間仕切り、食器、簡易トイレをつくる6課題を双六ゲーム化。双六の目の課題のものを、ある材料を使ってチームで作る。子ども

たちは十分理解して、十分使えるものができました。とにかく真剣。



東町ニユース

寒くなった分、夜空には堂々たるオリオン座

◎十一月初め、安養寺の奈良長谷寺由来の牡丹、消防署の改築完了で、元の参道に戻りました。どこかで保護されてこの日を待っていた。(右写真)

◎十月27・28日三中くぬぎ祭。雨模様でしたが、力のこもった二・三年生の劇は体育館いっぱい来場者を惹き付けました。

◎十月21日ペニーレーンにコマル映画館

◎十一月3日新装市民文化会館で市政70周年記念式典。冒頭、松本市長、本間市議会議員、小池都知事、友好都市ルーマニア大使と、挨拶に女性4人が続く武蔵野の今は、ちよつと素敵。

◎十一月17・18日本宿小はとの子発表会。一年

生が半年ですっかり一人前に成長です。一年生の数が増えたのが舞台を見て分かる。発表会は全て子どもの成長を確認できる貴重な機会です。生徒数増(350を越える)および、各学年の熱演で発表の時間が延び、名物だった全校合唱は今年からなくなりました。四年六年の劇の驚きの完成度。

◎十一月26日、今年も本宿地区青少協の、何かあったら駆け込める「子供を守る家」訪問。各班ごと5軒訪問し、挨拶してシールをもらう。(写真)



一年生がこの人数になりました。

バス研修は修復終えた 陽明門見日光へ

問い合わせ頻り、半日で全席埋まった十一月22日九浦の家バス研修。修復後の東照宮をそれぞれの体力に合わせてゆっくり見学。曇っていたのが徐々に晴れ、バスから山並みがはつきり見えました。穏やかな日差しが温かい日でしたが、陽明門のわきの水槽には、結構厚い氷が張っていました。「よい夫婦の日」のせいか婚礼もみられました。お昼の湯葉御膳も大好評。今年は夫婦の参加者が多数でした。



アジアを知らう20タイ2 十月28日午後 日々の暮らし、家々の行事

誕生から冠婚葬祭まで

お話 MIA会員黒川ラッダワンさん



黒川さんはタイの、イサーンというラオスに日帰りでできる東北部地域の出身で、来日13年。里帰りの機会にたくさん写真を撮ってきてくれました。

94.6%が仏教徒。新築祝、新車などにも験を担ぎ、坊さんに魔除けや繁栄の紋を書いてもらう。祝い事は奇数、不幸は偶数。日常も信仰厚く、毎日托鉢僧に食料や日用品を供える。米飯 飲みものなど、賞味期限の関係で、缶ジュースや菓子が増え、僧はもたら食べねばならず、糖尿病が心配されるとか。結婚式、お葬式とも独特の雰囲気があります。(記録あります)

写真右は、必要な時の助け舟、MIAの田村さん

つどいへどうぞ

災害時に九浦の家ができることは?

十月25日夜の話し合いでは、災害時に、コミセンに期待されることと出来ることとの間で、参加者の間でもかなり幅がありました。話し合いを繰り返して、共通点を見つけ、災害時にどう活かせるか、考えましょう。

武蔵野の空襲を通して平和を考える

十一月23日夜の「コミセン平和のつどい」で、牛田守彦法政高校教諭の中島飛行機を巡る話を聞く。細部まで話が延び広がり、大変興味深い中島飛行機製作所と武蔵野市の空襲の話でした。



中島に対する爆撃は9回だが、工場に当たらないから繰り返され、周辺に犠牲が出た。中島飛行機製作所は、重慶を始めとする中国爆撃と深く関わるのではないかと今オスプレイの整備はスバル(富士重工。中島飛行機の後身)が行っているーなどの情報も。長崎に落とされた原爆。パンキン型4丁模擬爆弾が落ちていくのを爆撃機から撮影した写真もありました。これで柳沢で二家族が犠牲になる。紹介されたアメリカからの新資料の映像の鮮明さ、すごさに、改めて国力の差を確認させられました。

師走にあたって地域の諸問題を話し合おう

十二月21日つどいで、今年一年の東町関係の問題として列挙されたのは、新設保育園近況および撤退事業者・平井医院跡地・女子大通りと東十一小路交差点事故多発・五日市街道植え込み手入れ・生活道路

への通過車両・女子大通り拡幅と下水道改修・高齢化に伴う防災、買い物、医療、介護・地域防災計画の具体案・三丁目農地・小中一貫教育・外環地上部街路など。いずれも今後続く問題です。

市民団体では初見学と秋山所長

十二月12日、消防署吉祥寺出張所新庁舎を見学(まち企画)。秋山出張所長が案内してくれました。



完璧な制震建築。地下には大きなキッチンと食堂、2丁の貯水槽。中二階が各種備蓄品倉庫、三階に消防士9人分のベッド。女性消防士用の洗面所、洗濯機を供えたベッドのある部屋が一階にあり、新年度配属予定とか。上階からポールで降りる天井穴は、もうありません。消防車より救急出動(担当3名)が圧倒的に多いそうです。一階受付奥が肝心の司令塔。この日は2台の消防車が訓練で出ているので、武蔵野の車が回されて待機していました。武蔵野の消防分団はとてもよくやつてくれていることでした。

小倉百人一首競技かるた大会

十一月25日、恒例百人一首競技かるた大会は、大人19名に小学生5名。本宿小での「昔遊び」の時間がきっかけで百人一首を始めた子がいます。地域としてもとてもうれしいです。

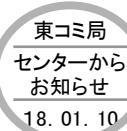


■九浦フリーマーケット

十一月5日(日) 好天に恵まれ、今年も多くの方が来館しました。本町コミセンの元氣市とも重なり、買い物を済ませ食べ物のある本町へ移動する方も多かったようです。

■学校見学

十二月15日、八王子市立みなみ野小・中学校(小中一貫教育校)を見学してきました。参加者の感想は一月のつどいでお聞きください。



▼40周年を控えて、ここへきて九浦の家の諸設備が相次いで悲鳴を上げています。ホールと児童室のエアコンが壊れ、やつと省エネ小型の新品を設置。十二月3日、和室のエアコンが壊れ全電源が落ちました。和室は電気ストーブでしのいでいましたが、十二月26日新しいエアコンに付け替え。風防室のガラスの隙間も処置されました。というわけで、九浦の家は、三月4日から一週間程度休館して大修繕に入ります。事務室とロビーの天井、壁の修理と塗り替え、児童室の壁も塗り替えです。女子トイレ手洗い改善も行います。

▼十一月末、門柱の大理石天板が外れ、十二月12日モルタルで止めました。

▼十二月27日、大改修に備え、ロビー給水機、各室インターフォン、女子トイレ手洗いの蛇口など撤去。

▼十二月7日新しい門前の電柱に電線付け替え工事。ミラーや標識も移し替えました。

▼一月5日臨時運営委員会を開き、コミュニティ自己点検評価。